



学校便り

だしる

自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和6年2月28日発行

合い言葉 **やればできる**

見直してみませんか

校長 土岐 邦寿

情報化社会の昨今、皆さんはどのようにして最新情報を入手しているでしょうか。一昔前なら、新聞、テレビ、雑誌などでしょうが、現在はスマホ・タブレットから情報を入手していると思います。新聞を見なくなったという人が多くなりましたが、この頃はテレビを見ていないという人も増えてきていると聞きます。

さて、そのスマホ・タブレットですが、どの家庭にもある家電になりました。学校でもタブレット端末を全員に配布し、授業や家庭学習で活用しています。大人よりも子どもたちの方が操作が長けていて、使いこなしています。大学入試においては来年度から情報科というテストが追加されます。よって今までの国社数理英の5教科に情報科が加わり、6教科となります。これからはパソコンもできないと国立大学進学が難しくなります。ますます大変になってきました。



© Loose Drawing

ところで、便利なスマホ・タブレットですが、健康面や生活面で問題になることが多くなってきました。① ブルーライトの影響で脳が活発化するため、夜眠れなくなり、朝起きられなくなる。② 画面を近くで見るため、眼球がラグビーボール型になり、視力補正がしにくくなる。(めがね等つけても視力が上がらない。)③ 個人情報企業が蓄積され、興味のある情報しか流れてこなくなるので、YouTubeなど見始めたならやめられなくなる。(他の人のスマホを借りてYouTubeを見るとおすすめ動画一覧から、その人の嗜好がすぐにわかります。)④ SNS (Line, インスタグラム等) は短い文章、省略文字、スタンプでのやりとりなので、真意が伝わらず、もめ事につながることもある。⑤ 自分の公開した映像の閲覧数を増やしたい(いいねをつけてもらいたい)ために、無茶なことや反社会的な行動をわざとやって撮影する。

ここに上げたものは、教え子でもスマホの沼にはまってしまい、苦しい経験をしたものばかりです。もしかしたらスマホを電話としか思っていないでしょうか？高性能な現代機械は「財布付きのパソコン+ゲーム機+カメラ+ビデオデッキ付き電話」となっています。子どもに贅沢な遊び道具を与えているのと同じです。はまらないはずはありません。特にこれを赤ちゃんに握らせて、子守をさせたら親は楽かもしれません。でも、赤ちゃんには刺激の強い、魔法の箱です。これに慣れてしまうと、大人の言うことなど聞きません。生まれたての雛が初めて見たものを親と勘違いするように、子どももスマホの言うことしか聞かなくなります。親は二番手、三番手でしかないのです。統計調査では、育児にスマホを利用したと回答した保護者が70%以上になったのが、今の13歳の子からとなっています。つまり、今の子どもたちはほとんどスマホに子育てしてもらっていることとなります。



© Loose Drawing

では、どうすべきでしょう。すべてを封印してしまうと、これからの社会に対応できなくなります。まず、夜遅くまでスマホを扱わない、なるべく離れて見るなど、家庭でルールを決めて、家族みんなで取り組むことだと思います。早速見直してみませんか。